



電子版機関紙 発行責任者 瀬下 啓司

県連サイト <https://www.rosansaitama.com/>

三役会議題

参加:瀬下、柴田、上野、岩岡

12月8日三役会記録

- ・現在の事務所の賃貸での運用を止めることに伴い、規約改定が必要であり、1月16日評議会、3月27日総会に諮っていくこととした。7月に理事会で話し合った規約改定(新規加入団体の会費の件、総会の書面議決の件)と合わせて提案文章の内容を確認した。
- ・新たな事務所をさいたま市内在住の理事のところとする。「財政支出要綱」に「事務所管理費の支出」の項目を追加する。
- ・現在事務所に郵送で届いているものは、全国からは福岡県連会報・大阪府連会報の2団体、埼玉県内の加盟団体から届いている会報などは、飯能・埴歩・熊トシ・こまくさの4団体であることを確認。今後は、紙ベースでのやりとりではなく、電子データでのやりとりに変更していく方向で検討していくこととした。
- ・秩父高篠峠の下草刈り実施をホームページにアップしていくこととし、文章や写真を確認した。
- ・1月15日の南相馬に関する講演会の案内を今後、配信していくこととした。
- ・上記話し合いの後、事務所撤退に伴い、書類を中心に廃棄するものを梱包し、車に積み込んだ。なお、棚など大型のものは専門業者に同居の他団体と一緒に依頼することで進めている。

2022年1月11日三役会記録

- ・1月16日評議会について、①進行案・活動報告活動方針・規約改定の5ページ分を事務局が印刷し当日持ち込む、②理事の集合は午前の遭難防止安全教育担当者会議も含め朝8:45とし理事に事務局より連絡する、③所属会ごとの指定座席表を鹿喰さんに作成してもらう、などを確認した。
- ・2022年度の会費の特別減額については、2021年度同様実施するが、3つの特別委員会などのより積極的な計画もあり、費用も発生するので2022年度は2021年度の半額程度と提案することとし、1月16日評議会に出す活動報告と活動方針の文章に加筆することとした。なお、理事会での話し合いが未実施なので、評議会前に理事に発信することとした。
- ・1月26日の理事会には、各委員会・3つの特別委員会・ミニ講座などの2022年度計画(必要な費用も含めて)を各担当者から出し合い検討することが必要であり、準備していくこととした。
- ・全国連盟の総会(2月19日午後～2月20日午前)の代議員枠は3人で、一人は瀬下理事長、あとの二人は瀬下さんから個別に働きかけることとした。
- ・ミニ講座については、県連全体の大きな取り組みと位置づける必要があり、宣伝をもっと強化していくことを確認した。

1月13日三役会記録

- ・コロナの急速拡大の状況から1月16日の評議会を開催するか否かを相談した。結論として、評議会の開催の中止を判断した。合わせて、16日午前の遭難防止安全教育担当者会議も中止、17日のミニ講座も延期することとした。
- ・なお、評議会に向けて準備をしていた活動報告活動方針と規約改定の2点は各加盟団体に配信し、ご意見を1月26日の理事会に反映できるようにすすめること、遭難防止安全教育については、重要な取り組み内容であることから3月27日の総会の中で少し多めに時間を取ることにし、ミニ講座については、次回予定の3月7日に延期することにした。

参加者:瀬下、柴田、上野、橋本、鹿喰、岩岡

2月8日三役会記録

・3月27日の総会は13:30～16:30の3時間とし、遭難防止安全教育委員会の部分を一時間程度組み入れることとした。よって、代議員のほかに、各会の遭難防止安全教育委員にも参加を呼び掛けることとした。

・総会参加者の交通費は、代議員と各会の遭難防止安全教育委員の両方に出すことが必要で、交通費領収書の用紙はそれに対応できるようにする。

・2021年度決算【概算2.06】について見通しを勘定科目ごとにチェックした。2月28日までには各委員会などから決算が揃うので3月2日の理事会には、確定版(案)を準備する。

・2022年度予算(案)については、2021年度の予算をほぼ踏襲する形で作成した。県連事務所管理費については、10,000円の予算とした。行事積立金は、おすすめルートや登山祭典を想定し800,000円の予算とした。

・寄付金、事務所閉鎖で突発的な収入が発生しているが、使途については、時間をかけて検討する部分もあるが、行事積立金の予算化に活用している部分もある。

・コロナの関係で県連費減額を2022年度は2021年度の半額としたことについて、全体方針では、「3つの特別委員会など、より積極的な実施計画もあり、新たな費用も発生するので」と説明している関係で、総会に向けて具体的内容を理事会として準備する必要がある。よって、3月2日理事会では各委員会から「〇〇をやるから〇〇円必要だ」と理事会レジメに記述し、話し合いが出来るようにすることとした。

⇒県連事務所管理費、行事積立金について理事会確認。

全国連盟

2月19日(土)～2月20日(日)

全国連盟第35回総会 東京・府中コンチネンタルホテル 瀬下出席。オンラインで新井、浦田出席。埼玉労山からは久保全国連盟副理事長、武笠全国理事、佐藤全国理事、宇田川山筋ゴーゴー体操専門委員が参加。組織拡大や遭難事故防止、登山時報の問題などが熱く語られた。今期から川嶋理事長の新体制になる。

県連全体

1月16日 遭難防止安全対策担当者会議、評議会、1月17日 ミニ講座第2回は中止。3月27日の県連盟総会において遭難防止安全対策の時間を設ける。総会、会場が使用禁止にならない以外実施。3月27日の総会はあるべくリアルで実施したいと考えているが、コロナ禍の状況を見て3月11日の三役会議で判断する。

●関東ブロック

全国連盟総会で集まった関東ブロックの役員で会議があり、今年度の事務局は群馬となった。

役員交流会 主管神奈川 2022.9月3日、4日

自然保護交流集会 主管千葉 11月26日、27日

救助隊合同技術交流会 主管埼玉

日程は上記の日程を考慮して埼玉が決定して事務局の群馬に伝える。神奈川、茨城からファーストエイドの講習を希望する声があった。

⇒候補日10月頃(案)とする。

財 政

- ・労山2022年カレンダー支払い及び入金完了。
- ・各委員会/ブロック今期決算報告をお願いします。
- ・各理事交通費を精算させていただきます。別紙精算書にご記入の上ご提出をお願いします。(期限:2月28日まで)
- ・前年度の半額と原案はあるが、2021年度決算後連盟負担額を決定する。
- ・各委員会及びブロック収支報告集計の上、理事会にて54期決算書(確定版)提出(予定)。
併せて55期予算(案)も提出予定。
- ⇒役員全員の交通費確認終了。決算書最終版を後日作成。
- ⇒本理事会の内容(一部委員会必要予算額は後日報告受ける予定)を反映し予算書作成予定。

事 務 局

- ・理事会レジメ作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・年間計画に応じて、開催会場の確保
- ・評議会、遭難防止安全教育担当者会議、ミニ講座の案内や中止連絡
- ・活動報告活動方針の作成準備
- ・理事会レジメ作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・年間計画に応じて、開催会場の確保やキャンセル
- ・評議会、遭難防止安全教育担当者会議、ミニ講座の案内や中止連絡
- ・活動報告活動方針の作成準備
- ・さいたま市公共施設予約システム利用登録の住所変更

組 織

再度コロナ感染拡大しました会の運営にも影響が出てくるかもしれません。どうか会員さんとの連絡を取り退会者を出さないように。また個人山行が当分主流になりますが低山ハイク、雪山ハイクなど滑落遭難事故に遭遇しないように。ネットで呼びかけ山行する山岳会が出てきて事故も増えている。

今月もコロナ感染拡大防止で定例会、定例山行等が各会、クラブが活動できないと思います。個人山行などに会員を(特に年配者)近くの低山など誘い、足の衰えをカバーし退会者を出さないように、またHPを刷新して新入会を拡大してください、まだHPを導入されていない会・クラブはこの機会に検討することにより会員は増えることでしょう。！！！！

ホームページ

11月1日第1回ミニ講座報告掲載、11月28日山筋ゴーゴー体操講習会報告、ハイキングクラブ上里HP更新案内掲載、南部ブロック9,10,11月会議報告掲載、植樹地下草刈り報告、ろうさん彩登87号発行

ミニ講座報告掲載、ろうさん彩登88号発行

女 性

通常、全国総会の時に関東ブロック交流会(?)の日程を決め、女性委員の交流を図るが昨年に引き続き中止。担当県は埼玉の予定であった。全国女性委員が不在のまま。都連盟担当しているが担当者が変わる。→全国連盟との絡みもあり、瀬下理事長フォローする。

ハイキング

12月18日陣見山ハイキング(ハイキング委員会が担当)は天気にも恵まれ寒い中であつたが29人の参加者全員が事故無く全コースを歩くことができた。落葉を踏んで気持ちよく、初冬の陣見山尾根歩きを楽しめた。その後の意見は寄せられていない。

登山学校

11月6日天気机上講座、7日実技講座「丸山」にて受講者15名運営委員8名参加で実施。12月4-5総合学習講座実技「鍬柄岳」「荒船山」受講者12名運営委員8名参加で実施。次回2月5-6雪山入門講座谷川岳周辺で実施予定

1月8～9日地図読み講座実技高水三山、2月5-6雪山入門講座谷川岳周辺で実施、3月5日閉校式
⇒次年度26期は受講生15名ぐらいの定員予定。また今年度は年齢制限(61歳以下)を設ける予定。

自然保護

2月26日に陣見山登山道の倒木処理と整備を行う予定。北部ブロックを中心に5名程度で行う。

2月に陣見山登山道の倒木処理と整備を行う予定であつたが4月に変更する。

●足尾に緑を育てる会 春の植樹デー 今年もコロナ禍のため、4回に分けて1回につき300人限定で実施されます。参加希望者は足尾に緑を育てる会のホームページから申し込んでください。

第1部 4月23日(土)Aゾーン(高所)

第2部 4月24日(日)Bゾーン(低所)

第3部 5月21日(土)Bゾーン(高所)

第4部 5月22日(日)Aゾーン(低所)

予約は3月14日(月)午前9時から受付。

⇒10月に提出した登山道に関する要望書に関して埼玉県庁より返信あり。要望書に対する回答対象は県管理通山道となる旨の案内。(橋本理事より埼玉県庁よりの返信メールを各理事に後日転送)

救 助 隊

☆埼玉県と埼玉県県警共催の安全登山キャンペーンの際、県警山岳救助隊隊員との会話で、埼玉労山救助隊長と名乗り、色々とお話をさせて頂いたことから発展し、県警救助隊、小鹿野町役場おもてなし課山岳担当、小鹿野町消防、一般社団法人小鹿野クライミング協会の4者で、対面の会議を持つことになりました。私は、埼玉労山救助隊長と小鹿野クライミング協会監事として参加します。当初2月7日に予定していましたが、コロナ絡みで延期となり、今のところ3月4日に予定しています。遭難者発見まで警察、救助は消防、人数の限り山岳救助の経験が乏しいということで体制を話し合う。

⇒予算の件、議題の項目にて報告

⇒老朽化した備品の入れ替え、及びドローンを使用した捜索の実用化を来年度実施検討。

海 外

特にありません。

遭難・安全

1.16に予定していた遭難防止安全教育担当者会議は、コロナの感染急拡大の中、残念ながら中止となった。予定していた内容は、3.27に予定されている総会に反映していく。3/2までに今後どうするか決める。

2/19-20 当委員会主催で、スキー交流会を開催した。場所は尾瀬岩鞍スキー場で、参加者は4山岳会、19名であった。スキー技術講習会は、上級班と中級班の2つに分け、西山への山スキーも実施した。2日間を通し、コロナへの感染防止対策を取りながら、参加者の交流を深めることができた。

ブロック活動報告

	会議 日程		
西部		石谷	2022年度への引き継ぎ含めて2/10に2021年度最後の会議を予定していたが感染かう大防止の為中止。2022年度は新座山の会からブロック長を出す。 2021年度決算47,000円仮払い返金(別途10,000円繰越プール→3/10会議費用として) G長はじめ輪番担当の変更→引継ぎを行う 足尾植樹対応について検討する
南部	1/20	伊藤	3月6日交流ハイク実施コース検討 富士見塚ハイキングコースで予定2月のブロック会議は休み 2月会議中止、3月6日交流ハイク予定
中部		羽竜	再開準備中
北部		小暮	各所属会ごとの判断で、会の活動を進めている。

議 題

○ 2021年度活動報告と2022年度活動方針

専門委員会・ブロック協議会・3つの特別委員会とミニ講座・決算予算について(別紙)別紙にて検討、3/2最終確認を行う。

○ 「財政支出要綱」への「事務所管理費の支出」の項目の追加(否も含め)

「事務所管理費の支出」項目追加、参加者全員挙手で可決。金額等は、今後検討。

○ 規約改定:日進山岳会からの指摘

第8条の4. 書面決議のうち、「伝染病」との記載を、「感染症」とする。

<理由>・現状では、一般的な使用語彙は「伝染病」から「感染症」に変更する例が増えてきていること。

・「伝染病」とは、病気を起こした個体から病原体が別の個体へと到達し、連鎖的に感染者数が拡大する感染症の一種のことをいいます。一方「感染症」とは各種ウィルスや細菌などが原因で発熱または喉の痛みなどの症状がでることを言います。

・要するに「感染症」の方が「伝染病」より広い概念を指しています。今回の改定の趣旨からいうと、別の個体への伝染が確認されないと適用されませんので、そうではなくもう少し広い裁量を確保しておくことが趣旨に合っているものと考えます。

○ 2021年度活動報告と2022年度活動方針(前回理事会から引き続きの検討)

専門委員会・ブロック協議会・3つの特別委員会とミニ講座・決算予算について(別紙)

⇒3つの特別委員会及びミニ講座について新たに科目を設定し予算書に反映する。会員拡大、救助隊については必要予算額を後日提示。

⇒救助隊については、老朽化した備品の入れ替えとと捜索用ドローンの購入を予算化する。

⇒HP委員会については経費が定額固定の為20,000円⇒18,600円に変更。

○ 3月27日(日)総会の進め方や役割分担など

・別紙の総会議事進行表に従い、理事の分担と議長・書記・資格審査などの事前依頼について

・議案書・資料集の電子データ配信や印刷:書面議決を併用しているので総会当日配布だけではなく、事前に電子データによる配信が必要(3月14日に事前配信)、総会当日に向けて議案書は印刷、資料集は電子データ配信(印刷しない)、ただし規約改定があるので規約は議案書の巻末につける、また、財政支出要綱も変更したので巻末につける。

・印刷の実務をどうするか。代議員58人、理事監事16人、予備3部、合計75部。案1:集まって印刷製本、案2:理事で手分けして各自宅で印刷製本(7人でやれば一人約10部)、案3:電子データ配信のみとして各加盟団体に印刷製本してもらう。

⇒総会時の役割分担の決定。

⇒資料の作成については、案1にて3/22 1900よりコミセンにて実施。

⇒書面議決参加の代議員分の議案書は「紙」で必要か確認し、なるべく印刷作業負荷を減らす。

⇒新理事の募集の案内を各所属団体に送付する。

○ 当面の理事会日程(案)

理事会:4月20日(水)、5月25日(水)、6月22日(水)

三役会:4月12日(火)、5月10日(火)、6月14日(火)

⇒理事会開催場所:4月20日(水)浦和コミセン、5月25日(水)同左、6月22日(水)同左抽選待ち

Topics

○次回 三役会議日程:2022年4月12日(火)場所:Zoom

○次回 理事会日程:2022年4月20日(水)場所:浦和コミセン第4集会室

☆ 3つの特別委員会とミニ講座

○ ミニ講座

- 第1回 【実施済み】2021.11/1(月)、浦和コミュニティセンター第6集会室
バリエーション登山へのお誘い、アルペンクラブNP0さいたま 上野司
- 第2回 【コロナで順延】2022.1/17(月)、浦和コミュニティセンター第13集会室
第2回 2022.3/7(月)、場所未定
山の自然学、熊谷トレッキング同人 橋本義彦
パワーポイントで発表資料は作成してある。ZOOMでの開催も検討したい。この場合、視聴参加人数は数十名でも可。会場に持参できない岩石標本もカメラで紹介ができる。ホストは橋本が行い、自宅からの発信となる。ZOOMの料金は橋本負担。第3回
日程未定、場所未定
埼玉労山の歴史に学ぶ、大宮勤労者山岳会 岡野和夫
- 第4回 日程未定、場所未定
ハイキングABC、わらび山の会 伊藤正勝

第2回がコロナの関係で中止となったため、次回以降の日程に順延していく予定。

- 第1回 【実施済み】2021.11/1(月)、浦和コミュニティセンター第6集会室
バリエーション登山へのお誘い、アルペンクラブNP0さいたま 上野司
- 第2回 【Zoom開催】2022.3/7(月)
山の自然学、熊谷トレッキング同人 橋本義彦
- 第3回 日程未定、場所未定
埼玉労山の歴史に学ぶ、大宮勤労者山岳会 岡野和夫
- 第4回 日程未定、場所未定
ハイキングABC、わらび山の会 伊藤正勝
- ⇒第2回 【Zoom開催】2022.3/7(月)
現時点での申込者 7名

○ 埼玉の山旅おすすめルート

本格的な登山シーズンを前に、各山岳会で、踏査山行の計画が続々決まって来ています。他会にオープンにできる山行は、ぜひ委員会までご連絡ください。

⇒県境リレー(雲取山・理事会担当)避難小屋使用しないことを考慮しルートの再検討

⇒両神山辺見尾根 4/23踏査予定、同行希望者募集

○ 登山祭典

コロナ禍が収まらず停滞しているが、もう一度気持ちを奮い立たせて前進させたい。

⇒方策及び予算計画を作成し提示する。

○ 会員拡大

全国連盟より埼玉県連の会員DB入手。現状60歳台34%、70歳台も34%、60歳以上で72%を占めている。高齢者が元気に登山を継続していること自体は良いこと。各会がそれぞれの会の魅力を高めて、それをどのように地域に広めていくかが課題。好事例を紹介するなど情報提供に努めて行きたい。(前回と同内容の記載です)

⇒方策及び予算計画を作成し提示する。